



小中連携による集団考動・無言清掃体験学習

GWの谷間の5月6日(金)午後、浅江中で集団考動・無言清掃体験学習が開催されました。当日は、浅江小の6年生が浅江中を訪れ、中学校の集団考動を体験したり、中学生が黙々と行っている無言清掃を見学したりしました。

この取組には小学生、中学生それぞれに以下のような目的がありました。

小学生(6年生)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の集団考動を体験し、集団考動の意義を学ぶ、集団としての行動様式を身につける。 ・身につけた行動様式を運動会練習などで全校児童に示し、集団力の向上を図る機会とする(来週末にひかえた運動会に向けて最大限に生かす)。
中学生(2年生)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習(準備)を通して、どのようにしたら小学生にわかりやすく伝えられるかを学び、実践することで「気付き・考え・行動する」力を身につける。 ・小学6年生に集団考動を教えることで、中学生としての自覚と責任を再認識する。

< 当日の様子 >

○5時間目

1・2組は体育館、3・4組は武道場に集まり、中学生が小学生に「号令の方法(起立、休め、気をつけ)」や「方向転換(回れ右、右向け右、左向け左)」についてレクチャーしました。中学生は、ど



うやったら小学生にわかってもらえるか……どのような練習の仕方が有効か……など考えながら行動していました。小学生は、中学生のアドバイスを聞きながら、一つひとつの動作を丁寧にっていました。

○6時間目

全体が体育館に集まり、中学生が手本を見せました。中学生は緊張した面持ちでしたが、中学校生活13ヶ月間で体が覚えた一糸乱れぬ行動を披露しました。その後、6年生がクラスごとに5時間目に学んだ成果を発表しました。中学生にはまだまだ及びませんが、一所懸命に活動する姿がとても印象的でした。



○掃除時間

浅江中学校の無言清掃の実際について詳しく説明を受けた後に、中学校の清掃時間に見学をしました。中学生は、いつもとかわらぬ清掃活動をしていましたが、黙々と活動する姿に、小学生はあらためて先輩の素晴らしさを感じていたようです。

この取組は、「総合的な学習の時間」として、小学校、中学校がそれぞれ明確な目的をもって実施しました。浅江小の小中連携教育担当の宮内先生が中心となり、小学6年の担任の先生や中学校の保健体育科の先生、中学2年の先生が目的を共有しながら進められました。小中一貫教育校(あさなえ学園)として、連携・協働した教育活動が確実に展開されています。